

令和4年4月22日
調布市教育委員会指導室

令和3年度学校に行きづらい子どもの保護者の集い報告について

1 事業のねらい

学校に行きづらい児童・生徒の保護者の多くは、子どもへの接し方などにひとりで悩み孤立しがちであることから、保護者を対象とした情報提供や情報交換の機会をつくるなど、子どもへの対応のヒントや心のサポートを得られるようにする。

2 令和3年度実施内容

新型コロナウイルス感染症の感染状況を踏まえ、第1回は中止としたが、第2回は動画配信にて実施、第3・4回は開催日の延期や募集人数を減らす等の対応をし、対面での講演会を開催した。保護者同士の意見交換（グループワーク）は中止としたが、教育心理の専門家の講演や情報提供を通じて、保護者が子どもへの対応のヒントや心のサポートを得られるよう支援した。また、周知方法についても、新たに学校安全・安心メールを活用するなど、より広い周知に努めた。

<第1回>

令和3年6月14日（月）に実施を予定していたが、新型コロナウイルス感染症緊急事態宣言期間中のため中止

<第2回>

令和3年9月4日（土）に実施を予定していたが、新型コロナウイルス感染症緊急事態宣言期間中のため中止し、後日動画配信を行った。

○テーマ 「学校に行きたくない」と言われたら～子どもとの関わりや声掛けについて～

○配信期間 令和3年10月12日から令和3年10月29日まで

○配信方法 YouTubeにて限定公開（参加予定者40人へ個別に案内）

<第3回>

○日時 令和3年11月1日（月）午前10時から正午まで

○場所 調布市文化会館たづくり 映像シアター

○講師 東京学芸大学教育学部 教授 松尾 直博 先生

東京学芸大学教育心理学講座松尾研究室 大学生・大学院生

○テーマ

「子どもたちの輝きを引き出す関わり」

「お子さんとの関わりを考える～学校に行きづらいお子さんへの支援活動を通して～」

○参加者数 23人

○アンケート内容抜粋

- ・親が明るく過ごし、子どもの話を批判や意見せず聞いて受け入れることも大切だと感じた。
- ・SWITCHプロジェクトの取り組みを知ることができてよかった。

<第4回>

○日時 令和4年3月16日(水) 午前10時から正午まで

○場所 調布市教育会館 301・302研修室

○講師 東京学芸大学教育学部 教授 松尾 直博 先生

東京学芸大学教育心理学講座松尾研究室 大学生・大学院生

○テーマ

「学校への行きづらさを体験した子どもの成長」

「学校に行きづらい子どもたちの心の回復と学生の関わり」

「フリースクールスタッフ・不登校経験のある子を持つ保護者へのインタビュー」

○参加者数 17人

○アンケート内容抜粋

- ・不登校の現状や要因について理解でき、不登校でも大丈夫だという安心感を得ることができた。
- ・子どもに対しての接し方の内容、思いを知ることができた。

3 令和4年度の実施予定

各学期及び土曜日の計4回の開催を予定。令和3年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症感染状況を考慮しながら実施する。